

## 第 20 回電子情報化委員会 議事録（案）

日時：2005 年 11 月 14 日（月）17:00～19:00

場所：JCI 会議室

出席者：野口委員長、金久保幹事、甲斐、田所の各委員  
（事務局）戸口、鳥居南

### 資料

20-0：電子情報化委員会（第 20 回）議事次第

20-1：第 19 回電子情報化委員会議事録（案）

20-2-1：年次大会電子関係スケジュール 2006（案）

20-2-2：年次大会英文テンプレート

20-2-3：投稿査読システムにおけるシステム接続問題の調査結果

20-3-1：メールニュース作成マニュアル

20-3-2：メールニュース登録者データ

20-3-3：コンクリートの分野で用いる用字・用語の表し方について

20-4：研究委員会での HP 説明について（e-mail 写し）

20-5：コンクリート工学の電子化について

### 議事

#### 1. 第 19 回議事録（案）の確認

第 19 回議事録（案）が確認された。また、前回議事に関連し、以下の議論があった。

- ・ 年次論文の検索システム要望に関しては、事務局で年度予算が確保されれば対応できる事項である。特に電子情報化委員会からの要望書は無くても良い。委員会で今後も議論していく。
- ・ 「当初契約は 3 ヶ月で」「サーバー会社との契約は 3 ヶ月更新で」と修正する。
- ・ メールニュース担当者の持ち回り順番は、まだ詰めていない。今後、詰める。

#### 2. 年次大会関連について

- (1) 事務局から資料 20-2-1 に基づき、年次大会システム関連のスケジュールの説明があった。また、資料 20-2-3 に基づき JP ビジネスサービスでの査読システム接続エラーの改善について報告があった。
  - ・ JP ビジネスサービスとの契約は原則として単年度であるが、レンタルサーバーの関係で今後 5 年間継続予定である。システムの修正は契約に無く、基本的にできない。
- (2) 資料 20-2-2 に基づき年次論文英語版テンプレートの修正報告があった（12 ポ 11 ポ）。
- (3) 論文申し込みの是非について議論があった。
  - ・ 新潟大会では査読委員長の交代時期であることもあって、特に大きな議論もなく前回の方法が踏襲された。再議論するとすれば、次々回の大会のタイミングがよい。

#### 3. メールニュースについて

- (1) 資料 20-3-1 に基づき、メールニュース作成マニュアルの説明があった。
  - ・ 印刷業者から送られるテキストデータでは文字化け等があるので、適宜修正する必要がある。
  - ・ メールニュース編集権は電子情報化委員会が有するので、内容について適宜修正する。
  - ・ 表記の揺らぎをなくすため、資料 20-3-3 を参考にして適切な用字を用いる。
  - ・ 2005 年 12 月号、2006 年 1 月号の原稿作成は田所委員が担当する。
- (2) 資料 20-3-2 に基づき、メールニュース登録者データの説明があった。
  - ・ 11/10 現在で、478 名である。会員 208 名、非会員 270 名。補修・補強、耐久性・維持管理、非破壊検査・診断に興味のある割合が大きい。
- (3) メールニュースの今後の方針について議論があった。
  - ・ 現状の配信内容では、会員に対するメリットが少ない。メールニュースでどのようなことが可能か、各委員でアイデアを出し合う。

#### 4. 研究委員会ホームページについて

- (1) 資料 20-4 に基づき、研究委員会の HP 準備状況について報告があった。
  - ・ 現在稼働中の研究専門委員会の雛形 HP は公開されている。今後更新作業を呼びかけるとともに、様子を見ながらメールニュースで宣伝する。

#### 5. コンクリート工学の電子化について

- (1) 資料 20-5 に基づき、コンクリート工学の電子化の方針について議論があった。
  - ・ 著作権、編集権の絡みから電子情報化委員会単独で決定できない事項が多い。編集委員会との打ち合わせを行う。たたき台資料を甲斐委員が作成する。
  - ・ ACI、ASCE の電子化の現状を調査する。
  - ・ メールニュースで「解説」、「テクニカルレポート」の概要へのリンクを記載する。
  - ・ 電子化することのメリット、デメリットをよく議論する必要がある。

#### 6. 委員の作業分担について

作業分担が明確になっていない委員の分担を今後詰める。

#### 7. その他

- (1) 会員証のカード化について、事務局から提案があり、議論があった。
  - ・ 電子情報化委員会で議論すべき事項である。
  - ・ 千葉大学で行われた身分証明証のカード化の際の情報を、野口委員長が報告する。
  - ・ カード化を行うメリット、デメリットを議論する。
- (2) 次回委員会は 2006 年 1 月 20 日から月末までで、e-mail にて調整する。

<<タスクリスト>>

[ 短期 ]

- ・ メールニュース原稿準備 ( 田所 ): 会誌概要へのリンクを忘れずに。
- ・ メールニュース担当順番 ( 幹事団 )

- ・コンクリート工学電子化に関する編集委員会との打ち合わせ（甲斐）
- ・ACI、ASCEの電子化現状調査（事務局、幹事団）
- ・委員の作業分担（各委員）
- ・IDカード情報提供（野口）

[長期]

- ・メールニュース活用アイデア（各委員）
- ・コンクリート工学電子化メリットデメリット（各委員）
- ・会員証のカード化
- ・コンクリート工学論文集の電子化、検索システム
- ・電子化全般：メリットデメリット、事務局の方針、理事会等への提案、長期方針
- ・課金システム検討